

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：相楽東部広域連合

プロジェクト名	相楽東部広域連合ネットワーク	実施期間	平成26～28年度	テーマ	行革・連携	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	相楽東部2町1村（笠置町・和東町・南山城村）は近隣町村の大規模開発の取り残しから、京都府南部の都市化と正反対に若年層の急激な流出や少子化の波を受け過疎・高齢化が進む自治体となり、本来の自治行政が平常化しにくく、特に住民サービスが関わるところでスケールメリットを活かせる分野において2町1村が連携・連合を図りつつ、住民負担を少しでも軽減、効率的な公共サービスが提供できるよう取り組んでいる。						
プロジェクトの目的及び概要	広域的にスケールメリットを活かした住民サービスの提供として、質の良い情報発信や効率的な業務処理、次世代を担う者への質の高いきめ細やかな学習機会の提供等を目的とする。						
	総事業費（千円）	193296	本年度事業費（千円）	46203	交付金額（千円）	12276	
プロジェクトを構成する事業の平成26年度事業実績（出来高数値等）							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）			
市町村実施事業	学力充実強化事業	交付対象事業	学力充実事業として、管内小中学校に常勤・非常勤講師を派遣する。	管内各小中学校に常勤講師1名、非常勤講師3名、特別支援教育支援員9名を配置した。			
	東部クリーンセンター維持改良事業	交付対象事業	稼働開始より年数が経過し、精密機器や日常使用機器に老朽化が進み、焼却施設や粗大ごみ施設を中心に改善する。	ばいじん濃度計アンプユニット改修、焼却及び粗大設備油圧駆動装置作動油交換、灰バンカ開閉用シリンダブラケット部改修、粗大施設受入コンベア整備、CO2計改修、二軸せん断式破碎機駆動用油圧ユニット改修			
	学校施設設備維持改良事業	交付対象事業	経年劣化が進んでいる管内小中学校・学校給食センター各施設設備の維持改良工事を実施する。	和東小学校遊具・プール設備改修、笠置中学校コンピュータ室改修、和東学校給食センター施設改修、南山城学校給食センター設備改修			
	学校施設備品購入事業	交付対象事業	各小中学校においてより良い学習環境づくりを図るため、授業に必要な備品を購入する。	和東小学校ストーブ2台他、笠置小学校タブレット1個他、南山城小学校家庭科ミシン1台他、和東中学校大型プリンター1台他、笠置中学校デジタル教科書1台他			
住民協働事業	廃棄物処理事業	関連事業	廃棄物処理（新たな処理方法へ向けての検討、2町1村でのごみの減量化等）	2町1村と連合で設立したごみ処理検討委員会で現在、今後のごみ処理とごみ減量化対策について検討中である。			
	各種社会教育事業	関連事業	2町1村合同事業（スポーツ交流会など）	小学生を対象としたスポーツ交流大会、スキー教室の開催			
住民が取り組む事業	各種講座の開催受講	関連事業	住民自らが企画・開催・参加する講座	歴史講座、茶道教室、生花教室の開催			
成果指標①	成果指標の目標数値	各小中学校児童生徒の漢字・英語・数学検定試験合格率的アップ		成果指標の実績値 （平成27年3月31日時点）	各種検定合格者数 笠置小学校（漢字検定12名/13名 英語・数学は受検なし）、和東小学校（漢字検定50名/58名 英語・数学は受検なし）、笠置中学校（漢字検定35名/80名 英語検定20名/31名 数学検定は受検なし）、和東中学校（漢字検定30名/78名 英語検定11名/15名 数学検定11名/13名）、南山城小学校は受験者なし		
	成果指標の達成状況	△	（左の理由）	笠置・和東両小学校の漢字検定及び和東中学校の数学検定の合格率は80%以上であったが、他は30%～70%であった。漢字検定等は年1回の受検としているので、次回は平成27年度である。それに向けて日頃の学習において指導教師と児童生徒との間の連携をより一層密にし、学力をアップさせる。			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：相楽東部広域連合

	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)		(時期)	
成果指標②	成果指標の目標数値	高等学校等の合格率のアップ		成果指標の実績値 (平成27年3月31日時点)	笠置中学校 H25 33名／33名(100%) H26 28名／28名(100%)、和束中学校 H25 33名／33名(100%) H26 26名／26名(100%)
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	両校とも合格率は100%を維持している。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)		(時期)	
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	常勤・非常勤講師や特別支援教育支援員を各学校へ配置し、授業をフォローアップすることで、生徒の学力向上につながった。 ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。				
本プロジェクトに対する自己評価	住民の自治意識を高める成果	生涯学習事業においては従来の行政側が企画して住民に参加を求める形式に加えて、住民自ら企画し、運営する事業が少しずつであるが増えている。例：バザー、子どもへの読み聞かせ教室等。			
	広域的波及成果	3町村の教育委員会が一つになったことにより、スポーツ交流会や各種生涯学習講座も1つになり、地域住民の交流が盛んになっているが、連合区域内の3小学校・2中学校間にも授業や催しものを合同で行ったりし、児童生徒間の交流も進んでいる。			
	行財政改革に資する成果	廃棄物処理施設を改修整備することで、施設の長寿命化が図れた。			
	その他の成果	耐用年数の半分を過ぎ、一部整備不良による施設全体の負担軽減が図れた。			